

医学部同窓会便り



同窓会長就任ご挨拶



宇野 英明 (昭和49年卒)

この度、平成26年8月30日に開催された第44回和歌山県立医科大学医学部同窓会通常総会において同窓会会長に選任されました昭和49年卒の宇野でございます。

平成15年より那賀支部長、平成18年より森庸亮会長、平成20年より吉村利規会長のもとで 副会長代行、副会長を担当し、同窓会活動に約11年間携わってきました。

和歌山県立医科大学の同窓会には、同窓生先輩諸氏の英知、不屈の精神を持ってして、和歌山県・大学教員・学生・県民との協働により約4半世紀にわたる大学再建整備構想の経過を経て統合移転を完遂した輝かしい歴史があります。「後に続く後輩達がより良い環境の下で教育・研究・診療を行って欲しいと思う先輩心

から」、「県民の医療を支える大学としての機能を果たしていけるようしたい」という素朴な同窓生先輩諸氏の気持ちが原点だったと聞いております。この歴史・伝統は、森庸亮前々会長、吉村利規前会長を始め同窓の先生方のご尽力により培われ築き上げられ、同窓会は新たな発展段階に入ってきております。

森会長により同窓会組織としての大幅な定款改定が行われ、現在実施されている同窓会事業や業務の多くがこの時企画立案され、受け継がれています。また、吉村会長により現実に則した定款の改定と併せて同窓会組織としての各種整備が行われ、学生課外活動支援を始め、大学発展に向けての支援協力等にご尽力され、大学との連携も緊密となり軌道にのってきています。

これら先輩諸氏により形作られた伝統ある同窓会の会長を、本日をもってお引き受けすることになりましたが、微力ではありますが皆様の協力のもとに良き伝統を守り、同窓会と大学の発展に繋がるよう努力して参りたいと思っております。

さて、同窓会事業に関しましては、基本的には、森先生、吉村先生の事業計画を継承し、さらに深めていきたいと思っております。

平成26年度事業計画の中で、特に来年は大学創立70周年を迎える節目の年にあたり記念事業へ積極的に協力していきたいと考えています。

さらに会員の親睦を深めるため、支部会・クラス会の開催を促進し、名簿発行、従来通り会報・会誌の編集・発行を行い、ホームページの充実などを推し進めたいと思います。大学の発展には、個性と人間性にあふれる学生育成への援助、学生課外活動への支援、同窓会長賞授与や学長賞・知事賞の副賞授与、良き研修医募集のための情報提供への協力、県内の医師、医療機関に対する大学病院の広報「病院だより」への協力、県と大学側との円滑な関係を今後も保つため和歌山県地域医療有識者との意見交換会である「和歌山県の地域医療を考える会」の開催、地域住民の医療・保健福祉の向上発展を計るため生涯研修センターへの協力や「和歌山県地域医療フォーラム」開催などを継続・実施していきたいと思っております。

最後に、全国で活躍されている同窓の先生方と「縦と横」のつながりを密にし相互理解・協力のもとに、支部長、理事、学年及び支部評議員を始め、副会長に選任された宮下和久先生（昭和53年卒）、坂口雅宏先生（昭和55年卒）と共に同窓会をさらに活性化させていきたいと考えていますので、先生方のご指導ご鞭撻の程これからも宜しくお願い申し上げます。

以上、簡単ですが就任の挨拶とさせていただきます。

平成26年度評議員会・第44回通常総会

第1号議案：平成25年度歳入歳出決算に承認を求める件

中山 恒夫理事

会計監査 川村 仁志海南・海草支部長

第2号議案：役員選任

第3号議案：平成26年度事業計画案

新会長

第4号議案：平成26年度歳入歳出予算に関する件

第5号議案：平成26年度会費賦課徴収に関する件

協議事項

1. 和歌山県地域医療フォーラム
2. 大学の教室の研究、学生の研修に対する援助について
3. その他

去る8月30日（土）大学内の生涯研修センター研修室にて午後3時30分より宇野英明副会長の開会宣言で平成26年度評議員会が始まった。

吉村利規会長開会挨拶



「3期6年の会長任期を歴代会長が築いてきた伝統を守りつつ宇野先生、有田先生の両副会長、顧問の森先生、赤山先生のご指導、ご協力をいただき定款の一部改訂などいくつかの新しい事業を展開することができました。また、同窓生の南條先生、板倉先生、岡村先生の歴代理事長・学長のご協力のもと学生支援のいろいろな事業に取り組むことができました。

卒業生への同窓会長賞の授与、病院便りの発行など新し

い事業を通じて学生には同窓会の活動を認識してもらう、内外の先生方には同窓会の立場を理解していただくような取り組みができたと思います。

大学は来年創立70周年を迎えますので記念事業で大学に協力していきたいと思ます。

会長職を長期にわたって務めることはいろいろな弊害も出てくるのではと思い、この際長い間同窓役員を務め、会務の内容に精通しておられる宇野副会長に後任をお願いしたところ快くお引き受けいただきましたので役員改選で正式に決定していただきたいと思ます。

私は和歌山支部長として役員に残りますので新会長を支えて同窓会の活動を進めていきたいと思ます。」

吉村会長挨拶に続き、西岡孝純議長が選出され、議事録署名人には38年卒の林靖二先生、平成3年卒の紺谷忠司先生が選任され西岡議長の進行により議案審議に入った。

西岡孝純議長



「議長は大役ですが皆様のご協力でご進めたいと思っていますのでよろしくお願い致します。私事ですが10月26日の大阪マラソンを走ります。体力的には維持できていますのでこの大役を全うしたいと思います。」

第1号議案中山恒夫理事



第2号議案

新会長に宇野 英明先生
(49年卒)、

副会長に宮下 和久先生
(53年卒)、

坂口 雅宏先生
(55年卒)

第2号議案にて新会長、副会長が推薦され、また監事には長崎靖彦先生(42年卒)、川村仁志先生(51年卒)が推薦され、総会で承認後に新執行部がスタートすることになった。

第3号議案平成26年度事業計画

1. 大学創立70周年記念事業への協力
2. 会員組織の充実のため、クラス会、支部会の開催を勧める
3. 年会費口座振替（三菱UFJファクターを利用）の促進
4. 生涯研修センター事業への参画
5. 県内の医師、医療機関に対する大学の広報への協力（病院便りの発行）
6. 第14回和歌山県地域医療フォーラムの開催
（主管教室：皮膚科）
7. 第15回和歌山県地域医療フォーラムの準備
8. 名簿の発刊、会報、会誌7号の編集・発行
9. 和歌山県地域医療有識者との意見交換会の開催
10. 学生課外活動への支援
11. 卒業生に対して同窓会長賞の授与、知事賞・学長賞への副賞授与
12. 研修医募集のための情報提供への協力
13. 学生会員、特別会員入会の促進
14. その他

44回通常総会

評議員会に引き続き、午後4時45分より宇野副会長の開会宣言で通常総会が開催された。



物故会員黙祷、会長挨拶、議長選出で評議員会同様に西岡先生が議長に選任され、宇野副会長が岡村吉隆理事長・学長の祝辞を紹介し総会に寄せられた祝電の披露が行われ、会務報告の後、議案・協議事項の審議へと移った。吉村会長より議案、協議事項については評議員会と同様なので一括審議の提案があり承認された。



その後、宇野英明新会長の就任挨拶（P1参照）が行われ評議員会で推薦された役員が承認された。

第4号議案・第5号議案 吉村利規理事

平成26年度に歳入歳出予算に関する件
平成26年度会費賦課徴収に関する件
について吉村利規理事から説明があった。

協議事項



1. 第15回和歌山県地域医療フォーラム2015主管教室について

宇野 英明会長より説明があり第15回フォーラムの主管教室は泌尿器科学教室に決定し、原 勲教授に内諾を得ているのでフォーラム

の開催準備を進めていく予定。

吉村理事から本年のフォーラムの進捗状況についての補足説明があり、第15回フォーラムの主幹教室の件は承認された。

2. 大学の教室の研究、学生の研修に対する援助について
宇野 英明会長より「学生課外活動の援助について従来より行っている大学祭への支援、西医体評議員会参加への支援、西医体で優秀な成績を上げたクラブへの表彰、ボランティア活動やいろいろな研修への援助、新たに学生からの要請があれば申請をしてもらい理事会等で検討し積極的に行っていきたいと考えています。」との説明があった。（P6参照）

吉村理事から支援した学生や表彰した学生には会誌に活動報告等を報告してもらっているとの補足説明があった。

大学の教室の研究、学生の研修に対する援助について承認された。

懇親会



開会挨拶：坂口雅宏副会長



挨拶：宇野英明会長



学園祭助成金贈呈



乾杯：生馬利文先生



当日は学生の皆さんも少なくさびしい記念写真になりました

助成金交付申請書

年 月 日

和歌山県立医科大学医学同窓会 会長 宇野 英明様

[申請者]

住所

氏名

印

課外活動 その他の活動（いずれかにレ点をつけて下さい。）

申請結果は後日連絡させていただきます。

記

申請額

催しの名称

主催者名

申請事業実施日

参加予定人数

内容

(注) 実施事業が分るもの。パンフレット、チラシ等

催し以外の助成申請につきましては、申請額、内容欄に詳細を記入の上申請して下さい
後日報告書等の提出をお願いし会誌に掲載いたします。同窓会活動は一人一人の皆様方の入会金・年会費にて運営されています。従来、無料だった
名簿も会費未納の方は有料になります。ご確認の上、宜しくお願い致します。